

美容家電12万円

ほとんどの方が毎日使っているであろう「ヘアドライヤー」近年とみに開発が進み、今や12万円くらいの商品まで登場しています。今回は、このお話です。

ヘア用のドライヤーは、ヨーロッパのほうで19世紀の終わり頃に発明されました。大きくて重たくてなかなか、片手では疲れてしまうようなもので、専用の置台みたいなものも、あったらしいです。(笑) 日本には昭和12年に当時の松下電器(パナソニック)が視察の中で見つけて、国産品を商品化しましたが価格は4万円くらいでした。他の中小メーカーがその部分に目をつけて、熱を発生するニクロム線と風を送るモーターを組み合わせて低価格の商品がたくさん出ました。筒先を見ると、たばこに火をつけられるような怖い製品でした。馬力を上げるためカーバイトという炭みたいな物質を入れ替えて使っていました。これがだいたい昭和30年から45年前後の頃です。最初は理美容業店から使用されていたでしたね。業務用は海外の製品も多くて重くて大変でした。

もとプラスチックが出るのが電気製品ですから。お部屋の照明からバンバン、プラスチックが出てます。それが体に悪いかというとそういうことではないのです。現在はなおよそ2万円台から12万円くらいまで出そろいました。自分の通っている美容室のヘアドライヤーはどのくらいのレベルのモノを使用しているか聞いてみるとよいでしょう。3万円以上の製品を使っている理美容室なら、薬品や、研究も怠ることなく進化している理美容室でしょう。安心できますね。

理、美容師は科学的なことを証明される前にヘアドライヤーを使用する際に振りながら使用するという体験値を体得してました。それがとても髪に良いことだと今は検証され、高級ドライヤーは風に高密度の振動を与えて排出しています。また、必要以上に髪の水分を失うことのない設計になっています。髪を乾かしてみると全く違うことに気が付きます。特にくせ毛の方は、すぐわかりますのでヘアドライヤーは、よく考えて購入しましょう。もちろんサロンでも販売しています。

個人は、修理が得意なのでお客様の購入したヘアドライヤーは無料で修理しています。価格、重さ、効果、乾く時間などを考慮してご購入ください。

た。昭和45年くらいから、かなり軽量化が進み安全な製品になってきました。当時、コードレスドライヤーなるものも販売されていました。ガスカートリッジ式でした。

最新のタイプは、赤外線(育成光線)、水蒸気(ミスト)、オゾン、マイナスイオンなど、髪を守る効果が組み込んだ製品が出ています。あまり多くて何を選んでもいいのかわからないというお客様もおります。

例えば髪のダメージが、ひどいという方には、育成光線の出る遠赤外線やオゾンタイプがよろしいかと思えます。しっとりした髪をお望みの方には、マイナスイオンが発生するタイプが合うと考えられます。髪が細くて猫毛タイプの方はオイルが出るタイプもございませう。髪の量が多くて乾かすのに時間がかかるという方には、風量に特化したD社のタイプでしょうか。

価格は1万円以上のモノでないといけません。消費者庁がヘアドライヤーの効果を検証したところ、低価格のヘアドライヤーは、まったくマイナスイオンが出てなかったということで、注意指導を受けました。もと

そうそう、製品のスイッチ、一段目は冷風(ただの風)になっているには理由があります。熱い風(70度〜80度)で乾かしたあと、低温(50度〜60度)に切り替えてすぐに冷風にします。冷風で頭皮を冷まし、髪も冷ましてください。そうすることによって、髪表面(キューティクル)が引き締まりサラサラした髪になります。頭皮の育毛にも良い効果があります。おまけに、髪を乾かす順序は、デコルテから脇の下のリンパを冷やし、首元のリンパを冷やし、お顔から頭皮へ冷やしていく流れにすると、胸元もお顔もリフトアップされて、5歳くらい若々しくなります。お試しあれ!

せっかく通う理美容室、何でも相談してください。あなたの通っている理美容室のスタッフたちは、結構物知りですよ。

(文) 五番街代表 大倉太喜生



hair design 五番街

TEL.0287-36-6811
那須塩原市太夫塚
6-232-213